
デスレス
6 SIX
六道神士
Rikudou Koushi
DEATHLESS
YOUNG KING COMICS

デスレス

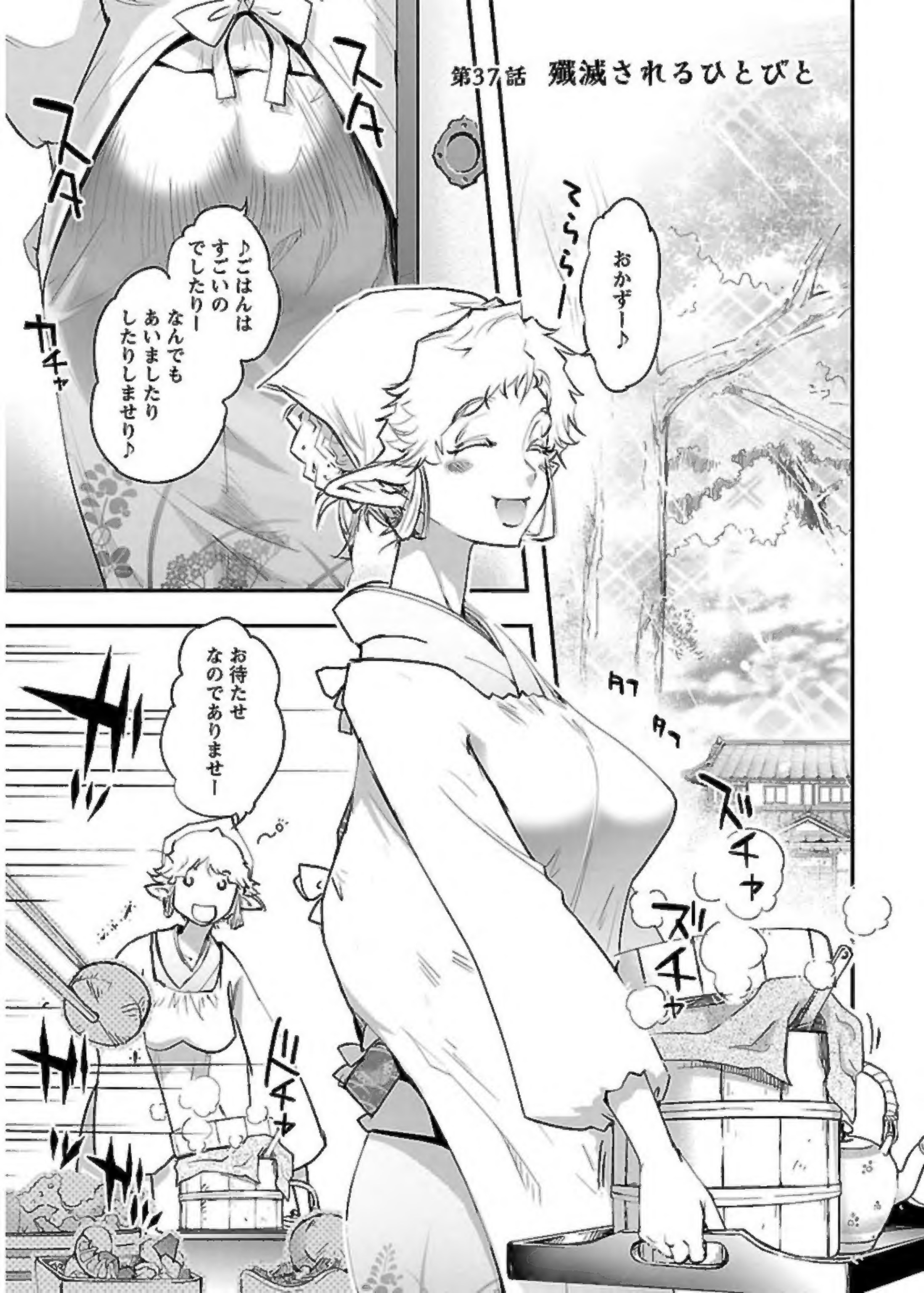
DEATHLESS

六道神士

Rikudou Koushi



第37話　殲滅されるひとびと




がっ
がっ
がっ
がっ
むしゃ
むしゃ
ヒュ
ガッ
カカッ
お茶はいかがしてよけれ？
ムグ
ムグ


はふ
ほぐ
はふ
ズズー
おかわりを
ペローン
ずい
せめて卒度出せい



うおオン
食事中にご無体な
何が
「うおオン」だ
暢気に
朝餉を喰らえる
立場か ぬしは!
ああ
忘れていました
ご
ち
そ
うさま
でした!
おそまつさま
なりしてば


ヌルー
美味しいので
つい爆食して
しまいました♪
失礼ですが
調理なさったのは
あなたで?
はいであり…
これは
お金になる
スキルですよ
稼いでみませんか
アイキャンフライ
ノウハウは
お任せ下さい♪
新たな伝説を
今この手で
刻みましょう
人間じゃないとか
問題ありません♪
MOTTO MOTTO
MOTTO MOTTO
ユーキャンフラー
ひとのツレを
勝手に引き抜くな
優れた技能の前に
人間も夜叉も
関係ございません
あなたは何か
技能を
お持ちですか?
ゴゴゴゴ
なんというか
よりによって貴様に
能のあるなしを
問われるのは
殊更に腹が立つの


カマドもこんなものを餌付けるな
お腹がすいたと言われてましてたので
ギギギギ
ハゥ
すごいね…ノリでスザクが押されてる
ミズキ殿は出るでないぞ
こやつは好かぬ
こやつにこれ以上いらぬ情報は与えたくない
では改めて御礼申し上げます♪
この乙金まどか死の淵の絶望の中一縷の希望を胸にこちらの門を叩いた甲斐がありました
はは〜♪
ああそうかい
まったく…


さんざ跳ね回った挙げ句あっさり事切れおって
…他家の軒先であのような骸を晒された日には迷惑でかなわんわ
……っ
おう
ミズキ殿
ピク
だめ……かな？
ふむ…？いや…確認したいだけだ


何故助ける？
…情報は欲しいよね
なにか起こってるみたいだけど…
わかんないまま巻き込まれるよりお婆ちゃんやスザクが判断できる情報があったほうがいいでしょ？
そこは他力本願か
あたしこのひと嫌いだよ
やったことも許せないキモいし


でも…
そんなこととは
関係無しに
情報は必要だし
この人が
害になったら
あたしが
なんとかする
3歩行っては
2歩下がっても
後退ではないと
いうことか
くく…
やめんか
バカもん


自分を殺した相手に少々の嫌がらせくらいいいじゃありませんか
面倒臭いだけじゃからやめいと言うとるんじゃ
ズズ
おや
なぜかこのお茶からは負け犬の風味が
で
いったい何がどうしたってんだい
約束の期限にゃまだ半月はあるだろ
カッ カッ カッ
それが…少々困ったことが起きたのです
それでこの際ですから——
お人好しの宮森家の皆様に是非協力を要請したいと思いまして
「要請」って言葉の「請う」ってとこの意味をちっとは考えな


なにがあったかくらいは聞いてやる
正直アンタがウチの敷居を跨いでるだけでも最大級の譲歩だと思っとくれ
まったくだ
せっかく危険な災いから皆様を救おうというわたくし共をそう邪険になさらずとも
はっきり言うが
迷惑なんだよ有り難迷惑ですらなくね
アタシもアンタが嫌いなんだよ
……はい
他人にはよく嫌われる質でして
妬まれる事には慣れております♪
自覚があるんだかないんだか


♪体操第2
あれは基本的に異性に興味の無いわたくし共が偉大なるあるじ様のもと中央主殿施設で平穏にいちゃついて暮らしていたときのことでした
──と ここまでの文脈でわからないところはございますか
…引っかかるとこしかないけどね…
あぁもう…
余計な情報を渡すつもりはないってことかい？
いいから続けな
突然 絹を裂くような悲鳴が──
キャアアアァァッ
1：逃げる
2：怯える
3：体操第3
ズンチャッ♪


そして わたくしの目前に飛んできたどす黒い塊——
これが信徒の生首で!
な・・・
同時に現われた異形の怪物の大群が信徒の皆さんをちぎっては食べちぎっては食べ
もはや施設は地獄絵図!
本当にそんなことが?・・・


というのは嘘ですけれど！
嘘かい！
冗談飛ばす余裕があんなら勝手に帰んな
失礼しました話しているうちについ盛り上がってしまいまして
真面目にお話しますともええと――
鬱陶しい…
あーびっくりした…
飛んできたのは生首で！
そこまでは本当なのかい


っえー
そして現われたのは血まみれの――
血塗(ちまみれ)の――


錫杖を構えた
雲水が
コロン
うんすい？
あ…


雲水って あの禅僧とかの かい？
いえ… そう見えたと いうだけで…
あれは…
——絶対に
人では


シャン
シャン
は
繭…
…の繭は
何処か


さすがに わたくしも 気圧されまして
あ…
アイドンノー
嫌がらせを兼ねて 英語で正直に 答えました
すると どうでしょう 怪物からぶりぶりに 殺気が！
ある意味 天晴れというか
難儀な女よ
さすがにこれは まずいと 思い始めた時——
おいでください ました♪
それはもう 美味しい タイミングで


よっあるじ様！
そうです！教祖様が間に入って下さったのです！
ウッ
ウッ
ウコ
ここで主題歌ですよ♪
チャラッチャッチャッ
わかったわかった
地味にうるさい…
その日はたまさか稀な来客の対応をなさっておられた教祖様…
偉大なる教祖様が海溝級に深い慈悲でもってわたくし共をわざわざ守って下さったのです！
正直濡れました！
…もしや普段は虐げられておるのか？
だよね…


そして
あっという間に
捕まる教祖様
？
あるじ様と
来客は
連れ去られ――
その あるじって
ヤツは何か
役に立ったの
かい？
なんの為に
出てきたのだ
残った化け物は
わたくし共を
いいように蹂躙
いたしました
よくまぁ
アンタなんで
助かったんだい
それが…


ある信徒が――
DANGER
いざというとき・・・こちらに使用するつもりで用意していた爆薬を持って怪物に体当たりを
もはや突っ込むまい
誰？
というかもはや主役はその信徒じゃないかい？
その雲水は…「繭はどこだ」って言ったのかい？
よく聞き取れなかったのですが…
「め…ちのまゆ」と…
……


もしや…「あめつち」…か？
ん？
心当たりがあるのかい？
聞いた限り吾の知る糞坊主と関係あるとも思えぬが
「天地」だの「理」だのとよく聞かされたものでの
ふん…
「天地の繭」…かい？
なにやら大仰な単語だね
そうだの
天や地にまたがる繭というと
例えば結界のような…


なんだろ
嫌な予感しかしない
む…意見が合うな
……………
ミカサ殿！
最早これは嫌な予感などという曖昧なものではない


一切関わってはならぬ――
わかってるよ
事情はわかったさ それで？
アタシらに何を頼もうってんだい？
はい♪
わたくし共は世の安寧のため教祖様を取り戻さなくてはなりません
ですがわたくし共は基本人間ですのでああいうもの相手は手に余るのです
そこで！人員や足回りや資金面はこちらが手配しますので――


ここはこちらの戦力と共闘をお願いしたく――
――断る
もう帰んな
見舞いの文句ひとつ付ける義理ぁないね
あの…
瀕死のアンタを助けた分はツケといてやるさ


クルン
お待ち下さい よろしいんですか？
アタシらにゃ関係ないね
アンタらの存在そのものがアタシらにゃ迷惑だったんだよ？
いえそういうことでなく
ん―？
生憎アタシらは一般的な道徳観念には留意するってだけでお人好しなわけじゃない
アンタの言ってることがウソじゃないんだとしたら
単に好都合ってんだ


本当によろしいんですか？
本当に？
くどい
チッ
当たり前じゃ
こちらは同胞意識の高い集団だと分析していたのに意外です
わけもわからず失望されるというのはなかなか不愉快だの
…同胞？
パーン
あーーー
わたくし言ってませんでしたか♪
そうでしたそうでした
なんの話だい


来客としていらしていた・・・そちらの・・・・・ご家族の方が一名あるじ様と一緒にさらわれたこと——
わたくし説明していませんでしたか？
知らないよ関係者がなん…
!!…
あ？れ…
ちょっと待て！今…家族…


早く言えーー!!
あの延寿(バカ)見ないと思ったら!
第三十七話／完


まいぺーす

デスレス
DEATHLESS


第38話　足並み揃わないひとたち


ふーん…
つぽい建物建てて…
つぽい佇まいに徹すれば
つぽく見えるもんだね
悪かったね ムリ言って



中央主殿って
部外者入れちゃ
いけないんでしょ？
そんな
延寿(エンジュ)…
君の立場が
悪くならないと
いいいんだけれど
いいの……
スタ
スタ
あなたの役に
立てるなら…
はは
可愛いなぁ
えい
ビクッ
あっ！
普段はここまでの
地雷さんには
めんどくさいから
手出さないいん
だけどなー
しんせーん
さすがは
怪しげな
教団の
信徒さんだ
チョメ
チョメ
何
を
あんッ
あふ


シてるんでしょうか！
あひ！
セイ！
ボギャン
ポキ
神聖な主殿でナニをシてるんでしょうか！
モザイクも無しで！
ゴゴゴゴ
ひ……乙金導師！
その子わりと抵抗したほうだから褒めてあげなよ
信徒を堕落させるのはやめていただけませんか？
レロレロ
宮森延寿様
中央主殿へようこそいらっしゃいました
ニコ
いやーここまで辿り着くの苦労したたしたした
はっはっは



それで？ボクはどうなるのかな？
いろんな方法で死体を処理して闇から闇へ葬られたりとか
ZAN・NENですが！
世界の安寧を目指すあるじ様のお膝元でそんな事できません
こちらへ！
あるじ様がお会いになるそうです
フン！
へーバレてたんだ
ええあなたがあの信徒を誑かした所から
あるじ様はすべてお見通しなのです
ふーん



こちらが わたくし共の 教祖様で あらせられれ…
あらせらるる あるり様れす
ここまで辿り着いた あなたに免じて 接見を賜るとの あるじ様の 有り難い仰せです
嬉しいねー
失礼な 振る舞いをしたら 捻りますので
安心してよ
スタ
スタ スタ。
僕フェミニストだし
えい


捻(ひね)りますよ
乙金…
かまわぬ…
しかし あるじ様… 失礼にも 程が…
失礼は お互い様 だよねー
なにも 御簾ごしじゃ なくったって いいじゃない
どうせ お人形さんごし なんだしさ
ちゃお♪
……
本体が どこかなんて 野暮なことは 聞かないよ
ボクはおはなし したいだけだしね



スキップ
スキップ
乙金導師
ご機嫌がよろし……
ひっ!
しばらく
主殿には近寄らない
ように
は…
はい……
あのときの
妖眼か…
何用じゃ…
期限には
日があった
はずじゃが…
かの地を
明け渡す準備でも
整ったか?
やほ
僕
延寿



えーと キミはなんて 呼べばいい？
……なんとでも
よもや本当に 雑談をしにきた わけではあるまい？
うん 土地のこととか この教団のこととか――
そんな雑談は どーでもいいんだ
君と 話をしたくってさぁ
どういう ことじゃ？ 延寿とやら
――僕はね
望んだ相手に
あんな 徹底した 拒絶を 受けたのは
生まれて 初めてでね



ゴッ
ふう……
なんだ生きてら
なんで僕──
「王の目」とは稀な
惜しい
また…これのおかげか…
ここどこかな
ま…なんとかなるっしょ


と
そのような次第で
あの失礼な老人はあるじ様と一緒にさらわれてゆきました！
ユラ
ユラ
ドリ〜ミ
わたくしもう悔しくて悔しくて
こちらの方々にセキニンを取っていただこうと…
どこじゃ！
そいつはどこ行った！


まだ存じま………
なんでもいい！手がかりを教えい！
あの……
あのバカもんが！
以前同じようにさらわれた時とはえらい違いだの
相手が人間なら…ヤクザが相手だって心配なんざしやしないさ
あのバカ…連中の根城つきとめたなんてなにも言わずに…
何考えてんだい
どどどうしよう！
アワアワ
ミズキ殿はともかく皆ここまで動揺するとは…
意外だ
同胞意識というやつか…
延寿様が？……
うわ…
ゴゴゴゴ



そんな…
ガーン
延寿様が!……
今日は秋葉か…こんなときに…
うっとうしい…
化け物に誘拐!……
触手…
凌辱………!
イヤイヤイヤ
動揺して妄想しておる…
器用な
さいてー
ほんっとに真性なんだ…
秋葉は心配しているのです!
ジュル…
……なら
ギッ


金なら……！
お金なら！
カカカカカカカ
嫌らしい熱気を持ち込むんじゃないよ！
あてんん
ちょうどいい充電だカマドさん！身動きできない程度に喰っちゃっとくれ！
ひゃぁん
ズー
はひれす～ねむ～～
ズル…


やれやれ…ったく
…言ってられないね
ミカサ…
……? あなた…ミカサ様だったのですか…
こちらの夜叉はよく平気でそのような事をしますね
ん?
まあ信頼関係ってやつさ
オヤ オヤ
グルグル


……色々と
今は突っ込まないでおきましょう
?
……しかしなぜ？
若返ってどうなる問題でもないのでは？
でもないのさ
アタシにゃちょいとした特技があってね
まずは大雑把に北東だね…
方位…当て？
…それは…本物なのですね？
悪かったね胡散臭くって！
信用します
言っちゃなんだが結果も見ないでよく信用できるね
どっちです


この状況で皆さんからメリットのない冗談が出るとも思えませんし
ニャイ
ニャイ
じゃあ話が早い
流石にどこまで歩くかわかんないからアンタんとこの車を回しな！
…お待ち下さい
試してみたい事があるのですが…
プルルル…
プルールル…
もしもし
うむ…第1ビルと書いてある
そうだ駅から西に少し行ったところだ


実験は成功――
当たりです！
なんと…
……
今までなんちゅう面倒なことをしとったんじゃ…
色々あったのう…
うるさいね！好きでやってたわけじゃないいさ
こりゃ道具のおかげなんだよ！
この石…ただの石じゃないいね？
あるじ様の持ち物です
運気を通しやすいものだと聞きました
運気ねえ…
オン…
しかし便利なのは確かだ
さて…集中しようかね
宮森ムサシ様これを
ん？


む…
こりゃあ……凄いのう
おわかりになりますか
あるじ様所有のものです
訝しがらずとも…
わたくしは別にあなた方に協力したいわけではありません
あるじ様を掠いわたくしを半殺しにしたあの化け物が——
ぎたんぎたんに
なればいいと思っているだけです
ふん…道理じゃなじゃあ遠慮はせん
小刀や飛び道具…あと防具もよこせ
探させましょう


エンシュサマ
吾らはやることないのう
アア
でも燃えてきた!…
ムン!
……
なんでため息?
ハア…
ジリリリン
おお電話だ
なんだ松川(マツ)殿か
ピッ
おうスーたん! みんな元気か
落ち込む暇もないといったところだ
ちょっと立て込んでおっての
はは…
またなんか起こってんのかよ まいーや こっちの話
そこ… FAXはねーよな… 黒電話だったし…
ふぁっくす?
あ…


えっと…
ある！
おっ
延寿お爺ちゃんの部屋
別回線でそのテのもの
たいていつながってる
莫迦者
早く戻れ
よし
番号教えろ
そういえば
松川の父君が
あの天狗がらみの
資料を寄越すと
言うておったな
律義な
今は
それどころじゃ
ないけどね
ジジジ
んー今は少し
あのときの流れ
思い出せるけど…
友達の親
誘惑しないで
もう！
誘惑？
ただの大人同士の
会話であろ？
うわ
む……？
ジジ
ゴッゴッ


その絵…
乙金…
"しづめびと"との記載あり
しづめ＝鎮め？
あの雲水の持っていた錫杖に似ています…
錫杖…？
………
……やはり
ねえ スザク
うむ…


あれは…偶然ではなかった
なんか石碑を移動したとかっていうのは…
それはいつの話だったのだ?
あの鳥は吾らがあの土地に訪れるなり初めて現われた
偶然にもね
だね…
本当のスイッチはあたしたちだった……
ってこと?
……
いや…あたしたちじゃなくて
あたしか…
ミズキ殿
大丈夫落ち込まない
あたしのせいだけど…あたしの責任じゃない
なんとかしたいからできることをやる


……
フ…
これが連鎖だとするなら…
目的のある仕組みだ…
雲水…？
そんなわけは無い…
すくなくともあやつは——
人間であった


われは
永劫の旅路に極果(ごっか)を開きしもの
へー……
「ごっか」ってなんだろ
究極の…悟りのことじゃ
物知りぃー
え…?


ガタン
ミカサ殿
わかったの⁉
だめだ！


この枠内ということですか？
しかし結構広い範囲で
だめなんだよ…
これ以上細かく絞り込もうとすると何か抵抗がある感じというか……
妨害されているということですか？
ああ…成る程そういう…可能性もあるさね
どのみちあとは現地で絞り込むしか
おう
こっちゃぁ準備できとるぞ
車の手配もできております
OK!
急ぐよ！
出発だぞ
うん！


いよいよだね！
ドタ
バタ
ガチャ
タ
はは……
ブロロ…
バタン
バタン
さあ！


留守を頼んだ
よ
ぞい
！
うむ
武運を
まかしといて！
ゼシ！
……？
えっと……

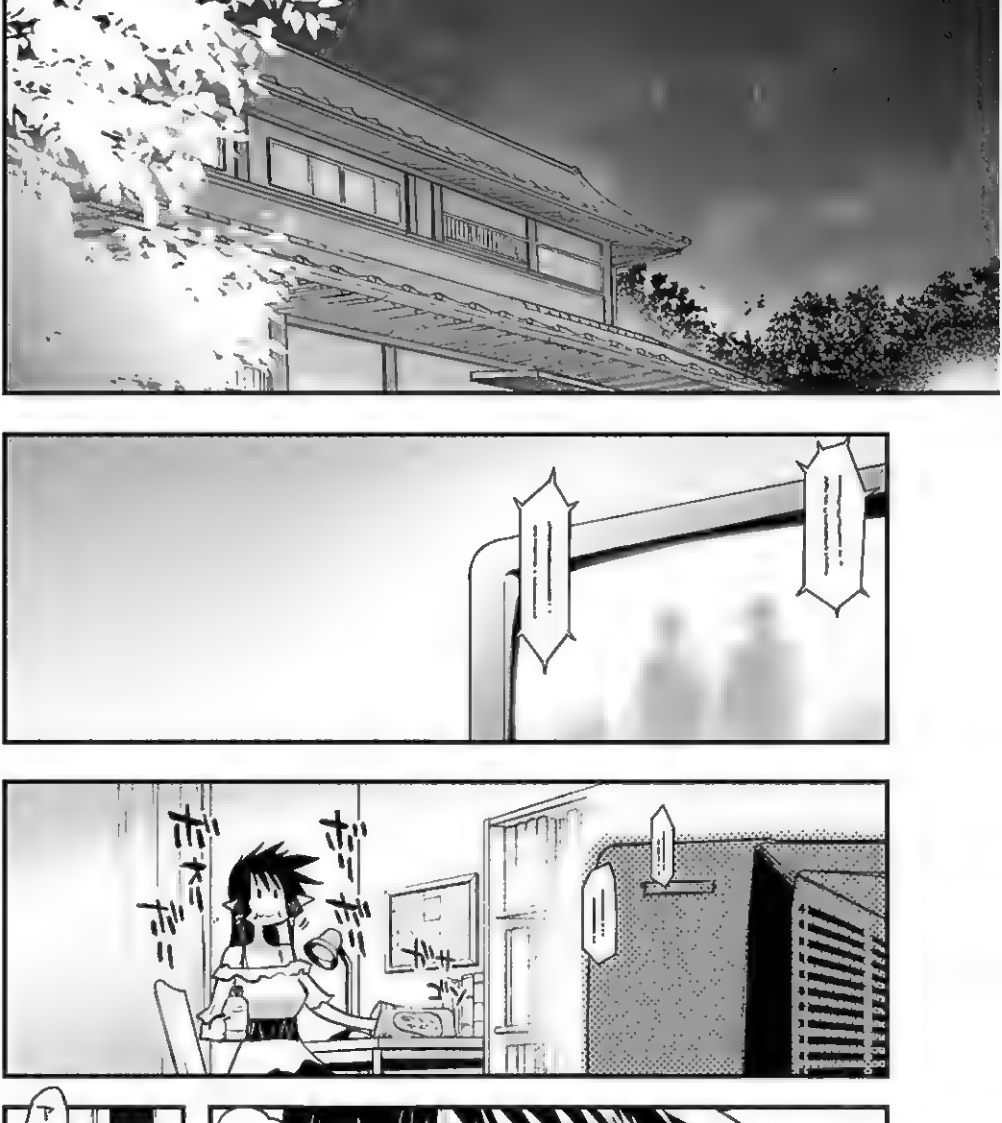


第三十八話／完


Boooo...

デスレス
DEATHLESS


第39話　困ったひとびと


アハハッ
あははは
アハハ…


アハハ
シュー
なに!?


オネェ
オネガイ
……あ～もう
わかった
わかったから
ピッチ
ピッチー
ムル
ムル
ムル


ひどいです……
お姉様……
ジーン
いきなり
吸いつく
とか…
もぅっ
元に戻すんじゃ
なかった！
ドヘンタイ！
もー…
こんな時間だし
仕方ないから
泊まっていいけど
朝になったら
勝手に帰って！
ギュ
そんなわけには
いかないのです！
お可哀相な
延寿様！
きっと
さらわれた先で
性的ないたずらを
強要されているに
違いないのです！
フシュルルル
秋葉は
期待…もとい
心配なのです！
……


そういえば……
こんな時に
他の方々は
どこに行って
しまわれたのです？
武蔵お爺ちゃんは
「出入りじゃわい！」
とか言ってたけど…
デイリー？
う…
殴り込みに
行ったってこと
ああ
あっち用語の
「出入り」ですか
お姉さまのま・く・ら
ポフン
クシャ
クシャ
で
どちらへ？
ゴスッ
ーーなんと！
延寿様の
居場所がわかったので
皆さんで取り返しに
行っただなんて！
延寿様をお迎えに
行くのにこの秋葉を
差し置くなんて
ひどいのです！
いやあぶないし
秋葉さん
フツーのひとだから
役に立たないし
ボスッ
ボスッ
お金の力が
ありますよ！
あははッ
この子を
育てたっていう
あのお婆さんも
かなり困ったひと
だったんだろうなぁ


ところで
ハッ ハッ
グリ グリ
お姉様方はなぜここに残っておられるのです？
テレビみたりとか
それは…
グリ グリ
まさかイモを引いたってヤツですか？
違……
違うもん
ぐるんぱ
いもをひく【芋を-引く】
〔極道動詞〕怖じ気づく。または、怯えて物事から手を引くさま。→用例「オジキが芋引いたけぇ、シノギが減ってしもうたんやないかい」



ビビりやがりましたか！
そうじゃなくて…
ズイ ズイ
行ったら…ダメだって…
ム
あう
焚き付けるな秋葉
あふん・・・スザクお姉様の方です
まったく…
ハァ ハァん
よいか此度の賊はどうもミズキ殿…もしくはここを探しておる可能性が高い
相手の目的もわからぬのに気安くのこのこ出向くわけにはゆかぬのだ
グググ
なるほどわかりました！
では秋葉だけでも命を賭けるのです！
それこそぬしが行って何となる
秋葉は繊細なので腕力はカラキシです！が！

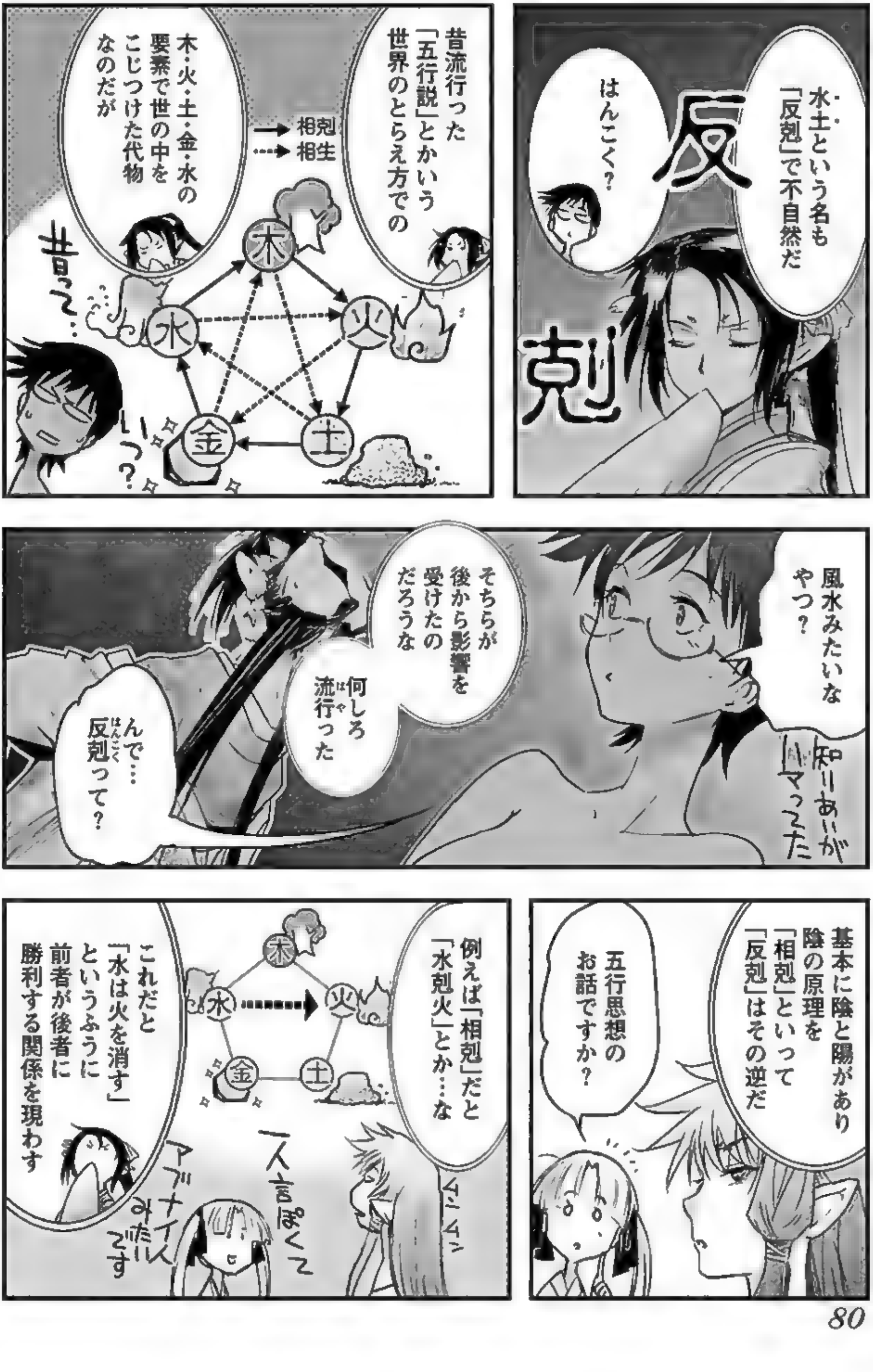

でもでも！
お婆さまから
受け継いだ
財産と人脈が
あるのです！
ワタシはお金の精です
お金がダイスキ
イェイ
お金のチカラで夢をかなえます
これらは時に
単純な腕力を
超えるのです！
お金に呼ばれてあらわれます
チャリン！
小僧の分際で
生臭い真理を
「実済智の光」の情報を
手に入れたのだって
秋葉なのですから！
みづちの
ひかり？……
なんだそれは
はい？
ご存じ
ないのです？
存じぬなぁ


こちらの地上げをしようとしてる新興宗教の名前じゃないですか
あ……
宗教法人
実済智の光
…もしや聞いておられないのですか？
いの一番に延寿様にお伝えしたのに？
ピロートークで
延寿殿だけがどうやって相手の本拠地を知ったのか不思議だったが…
ああ
元凶はぬしか
よけいなことを…


ま……延寿お爺ちゃんマイペースだから…
むむむ…カマドの同類だな
それにしてもよりによって丁度襲撃に立ち会うとは間の悪い…
いや
偶然とばかり考えるまい
というわけでテキのアジトさえ教えて頂ければ 命のお値段がリーズナブルな地域から捨て駒の兵隊でも用立てて出入りをかましてやるのです！
だから待てと言うに
なぱーむ いんざ もーにんぐ
だいたい今から向かおうにも詳しい場所は吾らも知らぬのだ
へー
でいり【出-入り】
（極道形動）集団同士の抗争、または殴り込みのこと。
官憲に対する言い訳や、抗争後の双方のメンツのため
争いではなく互いに出たり入ったりしただけという
ことにしておく事から。→用例「久留米の大物ンとこに
出入りじゃ、パイナップル１ダース用意せえ」
うう…使えないのです
ぐ……心配なのは分かるが今ぬしに出来ることはない
夜が明けたら帰れ ここも安全とは言えぬ
それでは仕方ありません…
秋葉は帰るのです


どうせこのお婆さまの私文書から発見した宮森家の由来に関する資料なんてケツをふく紙にもならないのです
フン
フン
ちょっ…
待ちやれ
お婆さまと親交のあった郷土史研究家の方との私信にこちらと関係のありそうな一文を偶然見つけまして
ほう… 延寿殿の言っておった消えた資料の手がかりかもしれぬな
あ なんか いい仲だったらしいですよ
男女の
…その情報はいらないから
ーつ…
おばあさま
ラバー
えと 私信ですので気持ち悪い恋文部分は割愛して――秋葉が抜粋した問題の部分はこうです
いや 気持ち悪いって
すいー
「この水土神宮にまつわる童歌の意味は結局分かりませんでした」と


水土…とはどう書く
まんま水に土です
水土神宮…?
それが昔ウチにあった神社の名前?
ぱっとしないな〜
あれ?でも「神宮」って…なんか特別な神社じゃなかったっけ?
そのあたりが厳しかったのは最近だと100年ほど前の一時期だの
あの頃はいきなり名前が変わったり潰れたりする社があったのを覚えておる
それ以前とかは?
へえ〜
自称する分にはさほど問題ない時期が永かったのではなかったかな
100年ほど前って…えっと明治時代?……
昭和63+大正14+明治44
そういえば国家神道がどうとか…高校の頃習ったかも…
お婆ちゃんが明治の頃に神社じゃなくなったらしいって言ってたし…
適当に名乗ってたから取りつぶされちゃったのかな
…いやおかしいのは社格だけではない


水土という名も「反剋」で不自然だ
はんこく？
反剋
昔流行った「五行説」とかいう世界のとらえ方での
木・火・土・金・水の要素で世の中をこじつけた代物なのだが
相剋
相生
木
火
土
金
水
昔って…
いつ？
風水みたいなやつ？
知りあいがハマってた
そちらが後から影響を受けたのだろうな
何しろ流行った
んで…反剋って？
基本に陰と陽があり陰の原理を「相剋」といって「反剋」はその逆だ
五行思想のお話ですか？
例えば「相剋」だと「水剋火」とか…な
これだと「水は火を消す」というふうに前者が後者に勝利する関係を現わす
ムニムニ
一人言ぽくて
アブナイ人みたいです



シュ
シュ
シュ
シュ
水
火
知ってます！
前に書いた方が「攻め」で後ろが「受け」なのです！
……五行思想をそのように解する奴を初めて見たの
で
水
土
本来土は水をせき止めたり濁らせたりする――つまりは「土剋水」というのが「相剋」という関係なのだ
木
火
水
金
土
木
水
火
金
土
であるから「水土」という表記は「反剋」なのだ…「相侮」とも言ったか…
……それって悪い事なの？


いい悪いの問題ではないのだが…
この国の風土で水が土に勝利する状況といえば…何を想像する
水が土に勝利…?
河の氾濫とか鉄砲水とか…?
このような水に困らぬ土地では大抵縁起のよいものではなかろう?
ウチは縁起が悪い名前の神社だったってことだね
結論。
違う
あえて水が土に勝利することを願う目的があったということだ
水城殿などには縁起のよい名前ではないか
なるほど…
秋葉
続きがあるのであろ
はぁい♥
この問題の歌(?)のメモが欲しかったら秋葉の――
うむ黙れ


——星降リシ
水土ナルハ
天土ノマヨ
守リシ
見エズノ池
水土ノ宮ノ守ハ
ウタフ（以下読解不能）
ちんぷんかんぷん
ズイ
この最後の「宮ノ守」というので気になったのです
なるほど…
宮ノ守ハウ
「みやのもり」…か…
ごく珍しい姓…というわけでもないが…な
宮森
「天土ノマヨ」って？…
古文忘れた〜
大昔繭のことを「マヨ」と言っておった気がする
「天土のマヨ（あめつちのまゆ）」であろうな
！
乙金が言ってた…例の雲水が探してるっていう…


「土」を「つち」って読むんだ…
…
ねえ…
こじつけかもしれないけどさ…「水土」って…
そうか…
みず・つち…
水土(みつち)か…
宗教法人
実済智(みづち)の光
あ…
ミズキ殿はろくでも無い事にだけ鋭いの
ほめてない!
ひどっ


だがおそらく間違ってはおるまい
分かった部分だけ整理しようぞ
まず「星降リシ水土ナルハ」
えぇと…
「星が降った「水土」っていうのは――」みたいなかんじ？
水土？
その調子だ「天土ノマヨ守リシ見エズノ池」
ゴゴゴ…
まゆ
水土？
池
「――天地の繭…結界が守ってる見えない池のこと…」？
最後に「水土ノ宮ノ守ハウタフ」
「――昔ウチにあった水土神宮の守り手がうたう…伝える…みたいな意味かな」
最初と最後がさっぱりだね！
ハハ…
だが二段目の…



天土ノマヨ守リシ見エズノ池
結界の中の池っていったら…
やっぱしここの事かな
……見えてる池だけど
綺麗な小池ですねー
「隠された」とかそういう意味かもしれぬ
少なくとも化け物にはこの結界の中は見えぬのだろうからな


ここって…
水質はフツーなのに
昔から藻も虫も
湧かないんだよね
つまり
ただの池では
ないということだな
ヤー
わかりました!
夜が明けたら
業者を呼びましょう
ポンプで一度
水を抜いて
徹底的に——
おうおう
多分
そこには
手出し
しねー方が
いいぜぇ
!
なんです
この小汚い
下男は
ああ
旦月といって…
あ 延寿様から
聞いてるのです
「奴隷みたいな…
いやそれ以下」
とのことで
はいはいはい
…この小娘
躾けて
いいですかね
貴様の事は
どうでもいい


「入れ墨」よ
この池に
手を出さぬ方が
よいと言ったな
何故そう思う
入れ墨？
くく…
ズズ
そりゃあ…
ズリ…
そこにゃ
この結界の
中心があるからさ
この世界の
中心だぜ？
へ？
こないだその池に
ムシが紛れ込んで
結界が止まっちまった
だろう？
危ねえとこを
僕がなんとか
したんだぜ？
入れ墨よ…
ぬしと
まともに話すのは
初めてかの
そうだな
姐さんよ



ぬしは何者だ?
儂にもわからんのさ
話す気がねえと受け取られても仕方ねーがね
ズ
ズ
ズ
儂も自分自身がやべえモンじゃねえって保証はできねーなぁ
いや
カマドは・・・ぬしらを人間だと言った
ならばぬしらは人間なのであろ
ねえスザク…結界の中心ってどういう
儂にゃこの結界の構造が見えるってこったお嬢ちゃん
あ…
そうなんだ…
……?
あれ?


あたしの声が聞こえるの？
聞こえてるぜ？
……む
なんで!?
待てミズキ殿 気にはなるが・・・
今はこちら優先だ
入れ墨よ 結界の構造がわかると言うたな
あー…
分かるっつっても池の中心に沈んでるカタマリが結界の元になってるって程度だぜ？
充分だ…
先程言っていた結界が消えた時のことを教えて欲しい
お安い御用だ


……なるほど……
なんなの？
ミズキ殿…吾は先程天狗の一件も雲水の一件も偶然などではないのではと語ったであろ
あ…うん…
この結界は強力なのだ
？
ああ同意だデタラメに強大だぜ
こんな気配すら漏れない強力でデカくて安定した結界見た事ねえ
ていうか凄すぎてフツーなら誰も気付かねーレベルだぜ
そうだ…
これ程の高度な結界がなんらかの危機感をもって作られたものなら…
・・・・なかのものを閉じ込めるための檻だろうが守る為の金庫だろうが…


ミズキ殿
金庫や檻を無断で開けようとすれば…普通どうなる？
……そりゃ通報されるんじゃないかな
警報とか鳴って…
警報…
そうだ……
鳴ったのやもしれぬ


巨大な
警報が――
だが結界は破られたわけではなく元に戻り…
警備員たちは金庫の場所を見失った…か
ええと…
なんか乙金さんとこ自業自得っぽくない？
あっちのせいっぽい
連中もこの仕掛けは知らなかったということであろうな
フム
これらのこと全てに確証は無いが…


調べてみねば なるまい
先程の歌によれば この池こそが 「みづち」だという 意味に取れる
何が起こるか わからねえぜ?
どの道ここは 調べぬわけには いかぬ
今はどのみち
皆いのちがけだ


登山口…？ ここか…
ああ
荷物を降ろして確認を！
2分以内に点呼終了！
――間違いないね
延寿のバカはこの先だ



…ふん… 殺気が漏れとるわい
さ…行くよ
第三十九話／完


ひびけ
お金のチカラ♥

デスレス
DEATHLESS


第40話　逢うひとびと


普通なら頂上まで車で行けるようなハイキング向けの山らしいね
登山道を作ってわかった気になってても山は山
道を一歩外れれば異界じゃ
そういや武蔵昔バカみたいに山ごもりとかしてたね
バカとはなんじゃ！
武蔵
おう
ここまで濃けりゃワシでもわかる




よし
感が戻った
結界を軽く斬りおった…なんちゅう業物じゃ
むっ
さすがに気付かれたよ
気をつけな


来た みたいだね
これだけ はっきり ケンカ 売ったんじゃ
まあ 来るじゃろうな
最初から トバしてて バテんじゃ ないよ
人間のカタチを しとらんから 手加減せんで すむわい！
足手まといも おらんしな
連中置いてきて 正解だったね



ろろろろろろろろ
Full Arm
足手まといじゃや！
悪いが道案内のミカサを守るので手一杯じゃ
ここで待っといで
お気になさらず
ズラッ
皆 遺書は専属の弁護士に預けて参りました
色々完了
ジャキーン
ええから信用せい！


この後に及んで
アンタらの
教祖とやらだけ
見捨てたり
しないよ
ハァ…
あるじ様に
もしもの事が
あれば…
可能な限り
そこいらじゅうの人を
道連れにして死にます
腹いせに
世界を
救うとか言う建前は
どこ行ったんだい
ゴゴゴゴ
あるじ様に
もしもの事が
あればどのみち
世界は滅びます
わかった
わかった
延寿と一緒に
助けると約束する！
ちなみに
そのあるじ様だか
教祖様だかってな
どんなご面相なんだい
特徴くらい
教えとくれ
ふふ…
あるじ様は………


やれやれ
正解じゃ！


コイツは普通の武器でどうこうできる相手じゃないじゃろ
連中がどうなろうがかまわないが流れ弾でも当てられた日にはたまったもんじゃないしね
2体くるよ
とにかく延寿のヤツを一発ブン殴るまで腹が収まらんぞ
心配かけおってあのバカ!
しかし我が弟ながらたまにほんとに何考えてるんだかわかんないねアイツぁ
どうせ女がらみじゃろ


あら？
んー？…
これは…
食べろってことかな？
のり
どこから持ってきてるのか知らないけどテキトーだなー
大雑把っていうか… 野菜はまだしも生米持ってこられてもねー



お菓子パンがある
どう？
いらぬ…
じゃ遠慮無く
……
モシャ モシャ
それにしてもここ湿気多くて蒸し暑ー
トシヨリにはこたえるなあ
モク モク…
ねえキミは時を戻して若返らせたりできないの？
わらわに夜叉のようなマネをしろと言うか
わらわをあのような時を喰らうこと以外考えぬ獣どもと同じに見るとは無礼な老人じゃのう
上着脱ぐの手伝ってあげたじゃない


ねえ教祖サマ
黙れ無礼者
ゼェ
ゼェッ
…まったく…妖眼持ちには昔からろくなのがおらん


やれやれ
ボクもガッカリさ
プライドを
傷つけられたと
思ったら相手は
頭脳はババア
体は幼女
２重にストライク
ゾーン外とはね
んー
これじゃ
巻き込まれ損だ
だいたいなに？
あいつ
あれは……
おそらく……
古い「式鬼」
じゃろう
ゼイ
ゼイ
シキ？
人が仕掛けて
式りし鬼じゃ
てことは…
操る黒幕が
いるってこと？


いやそれはないな
なーんだ
あれは「仕掛け」で「仕組み」じゃ
からくり人形みたいな？
そうじゃ…主が死んでも動き続ける
あの古さから考えてももはや作り手は存在せんじゃろう
迷惑なもん残されてもねー
目的はなんだろ
なんじゃろうな確かに目的が分からぬ
わらわが目的かと思うて教団が皆殺しになるよりはと思いこの身を差し出したが…
結構甘いね
ふ……また1から始めるのは御免じゃ


壊れてはまた
造り直して
備え…待ち続け…
……面倒にも
なる
ゼィ
倦み疲れたような
気が——
ミカサ
さすが
しかし結局
わらわを
殺すでなし
さらには貴様まで
連れてこられた
意味が分からぬ
あー
やっぱなんか
珍らしかった
らしいよ この眼
「惜しい」って


「惜しい」じゃと?
惜しいほど珍しい異能でなくば放っておくというのか?
放っといてほしかったね
放っておけば失われてしまうとでもいうような…
ダメなコレクターみたいな言い草だなあ
収集…?
いや…もしや集めておるのか?異能の力を
コレクターじゃなくてスカウトマン?
どしたの
結界に穴が空いた


なんだもう来たのかさっすが
…見えるのか？
うんにゃボクはそのテのはさっぱり
知ってるだけさ
ふむ？なにをじゃ
ボクのおにーちゃんとおねーちゃんは昔からせっかちでね
兄弟？……貴様の兄弟なぞ老人じゃろうここに来てなんに……
いや…そうか夜叉がおったか


若返りの禁忌か
哀れな…恐ろしい真似をさせおる…
?
禁忌?
もはやスナック感覚でやってるカンジだけど…
ナニかマズいのかな?
しかし機会やもしれぬ
今代の宮の守の剣士は歴代でもそうとうの強者じゃ


あの式鬼(しき)も
さほど余裕はあるまい

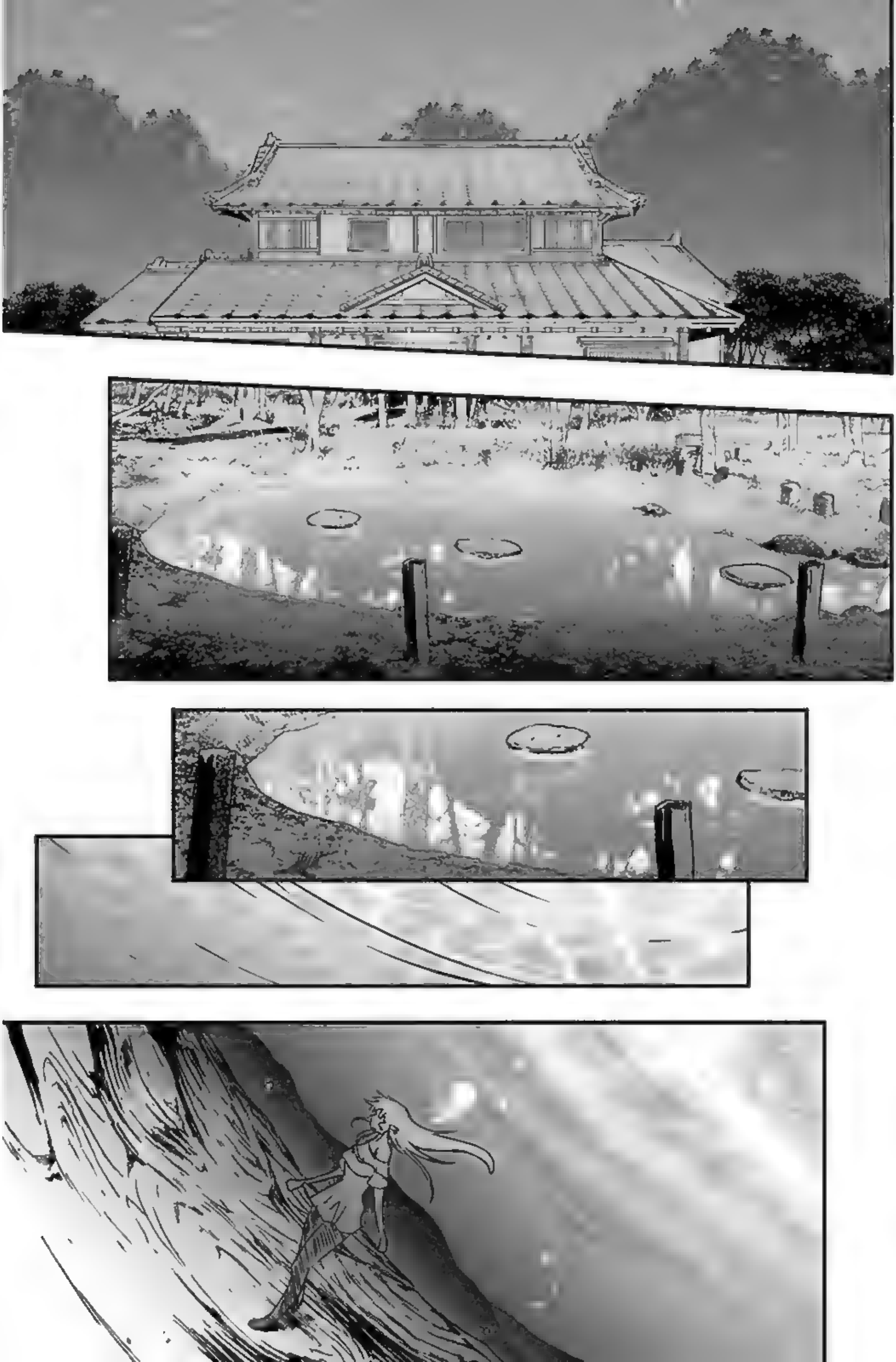

おい貴様
延寿だよ
ドキ
……？
どしたの？
わらわの体を貴様にまかせる
はい？


……今ならば
捻り殺すもたやすいぞ
えーと
て言われてもなー…
ゴソゴソ
ふむふむ
フムフム
イタズラしていいってことかな?
うん女の子だ
パッ
どーでもいいけど何者なんだろコイツ


ピ
ピピピピピ
来ました！
受信！
ズドドドドド
乙金導師！
ワァァ
キャー
教祖様は
あるじ様は
ご無事
なのですね！
当たり前です
ふふふ
あ
はい
どうぞ
どうぞどうぞ！
OK!


どうぞ
お使い下さい♥
この時のために
この躰
日々鍛えて磨いて
おります
変ンンン
身ンン！


……
……
依り代としての並外れた才能か…
なぜこんなヤツに……
…着替えを
あはい！
もっと地味なお召し物を！
ワイワイ
シュル




なんにも無いね
寝言は寝て言え
ひど…
あの池がこんなに広いわけがなかろう
ゴボ
そーいやそーだね
どーなってんの？
いずれ幻であろ
結界の中心とやらの反応があったということだの
みんな大丈夫かなぁ
ミズキ殿が心配しても始まらぬ


ミカサ殿の千里眼と危機回避能力は本物だ
今の状況が本当に危険なものならミカサ殿は最初から別の方法をとっておるであろ
運いいしね
武蔵殿とて普通のあやかし相手ならば相当なものだぞ
へー
人間相手にはからきしだが…
デリケートだからねー
ピンとこないなあ
今の世ではほぼ無用の能力だからの
もったいないことだ…
今の最盛期の武蔵殿…あれほどのものは吾も一人しか知らぬ


一人しか——
ん？
なにかある！
……スザク？



天地との約定だ
汝と我の共に有るこの天地と約定するのだ
まるで求愛の言葉ではないか
——人の分際で
この不朽の
不滅の
永劫の吾に
あれ？スザクどうしたの？
ねえ——


永劫の——
ちょっと？
なんか落ちてる！
第四十話／完


ちょっとスザクってば！
起きてってねえ！
なんか落ちてるし！
ここって池の底じゃなかったの!?
ボオオオ


これが――
結界の中心？
違う
まやかしだ
あたしたちを
結界の中心とは
別のところへ
誘導しようと
してる！
ゴオオオ


スザク しっかりして！ なんか やる気なさげに パラパラ 崩れ始めてるし！
あわわ
ポロ
ポロ
ポロ
あたしでも すぐわかる くらいなのに… スザクのくせに なんであっさり やられちゃうの!?
ポロロ。
ポロ
なんとか しなきゃ…


簡単だ・・・
こんな繭など・・・
消し飛ばして
しまえばいい・・・
あ


んッ
ああ
あッ
おうッ…
はッ
ああ


第41話 あいしたひと


あっわわわ…!?


またこんなシーン…！
も～
昔のスザクってケダモノでさいて－…
……？
なんか…たまに見える大昔のスザクの記憶とノリが違う…？


ええと…
いつものおげれつ肉食怪獣総進撃で半分恐怖な光景…あれは言わば食事シーンだとしたら…
ドキドキドキ
ー…ー…♡
こっちはもしかしていわゆるガチでアレ的な…
わあぁ
気まずっ!
すっごく気まずっ!

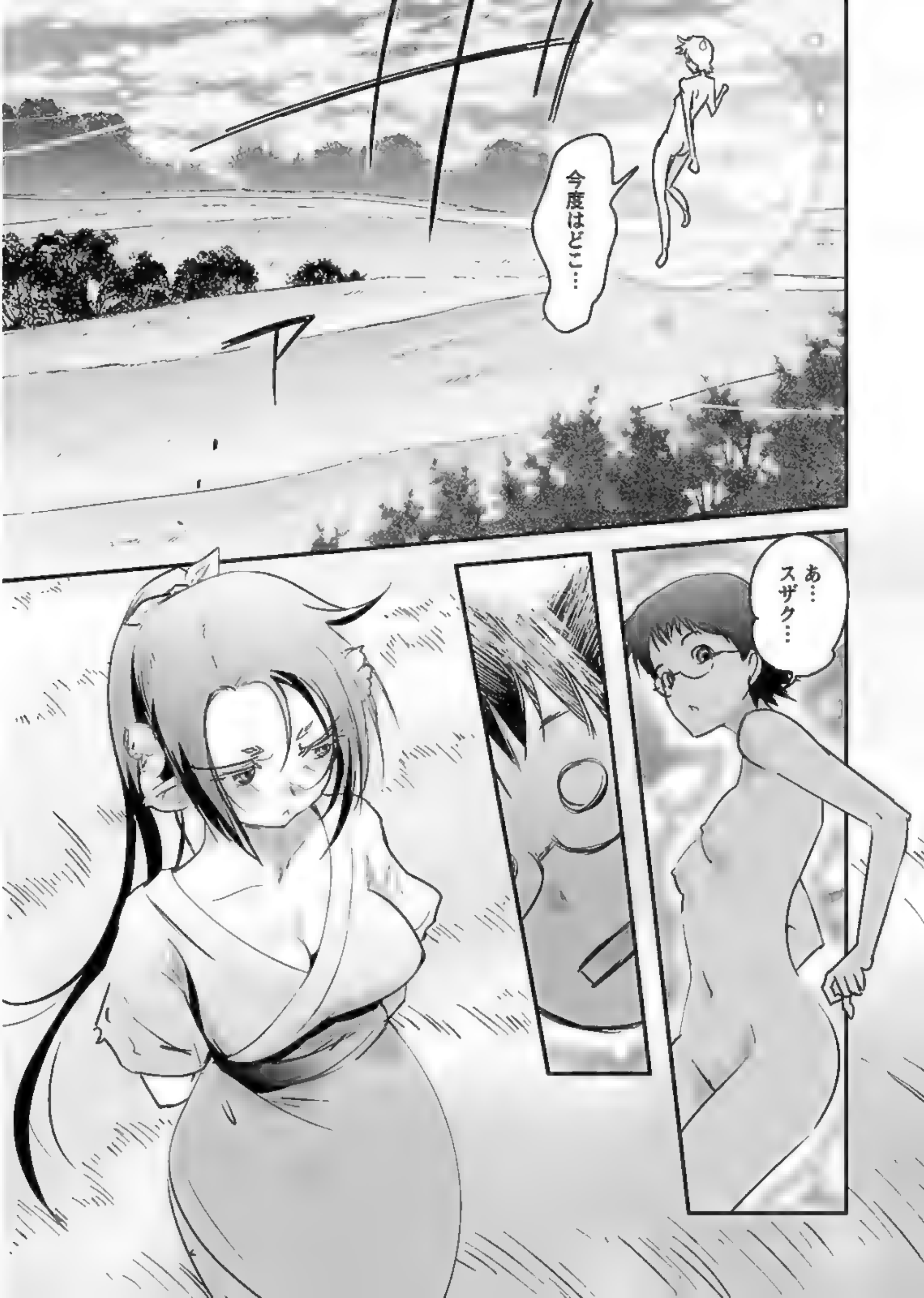

ちょっと意外…
でもスザク…そんな相手いたんだ…
チク
ピカ
って…?
ザザ
また場所が変わった…
ザザ
わ?

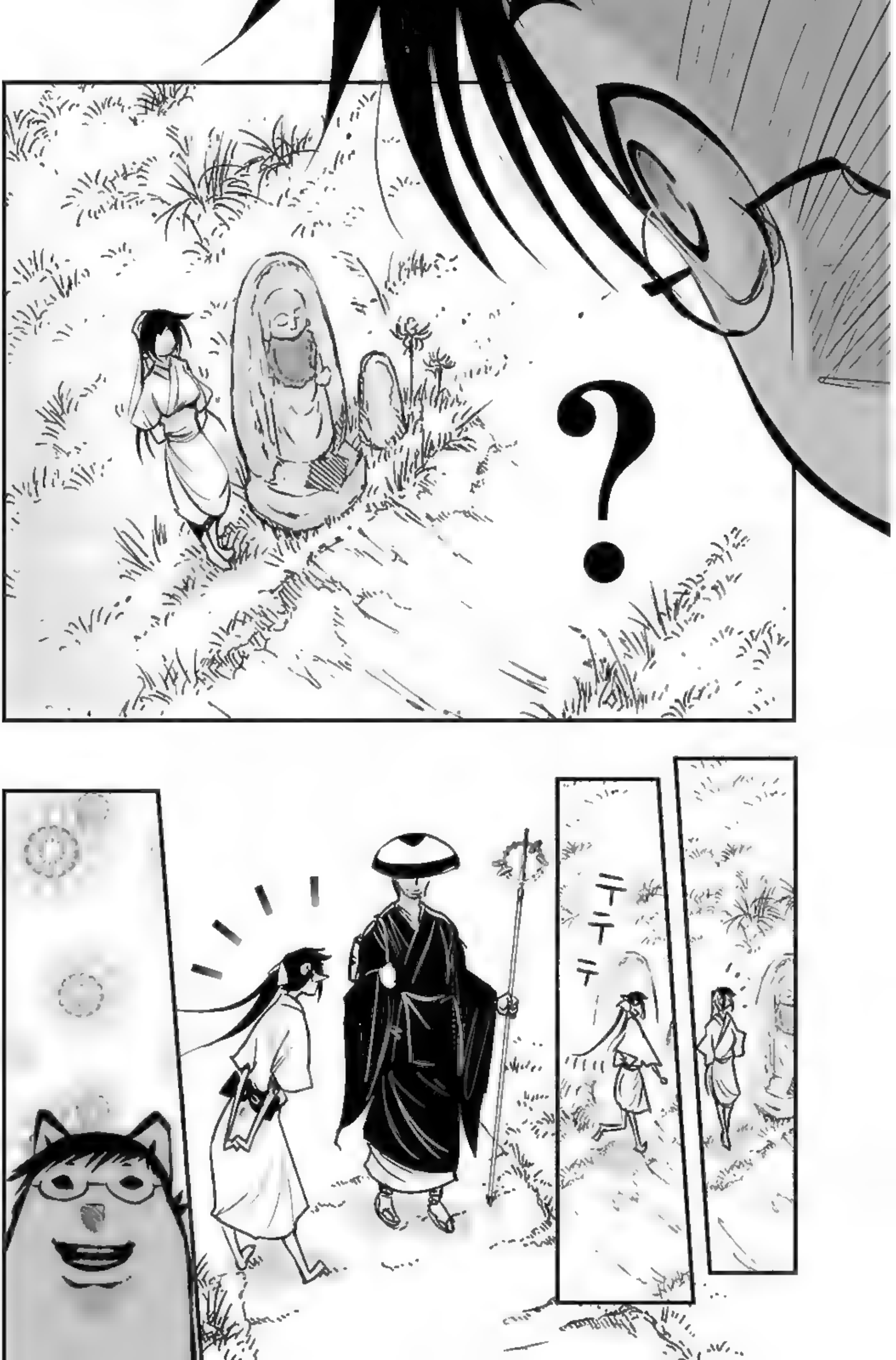

前に見た一週間ぶっ通しで闘ったとかなんとかいう場面だ…
スザク若い頃は今よりも血の気多かったんだなぁ
今何才か知らないけど…


なに
喋ってるんだろ
たしか
結局 勝負
つかなかったん
だよね
ていうか
これスザクの
思い出…？
だよね
結界を調べようと
してたのに
なんで
こんなのが
見えるんだろ…
ユメたまに見る…


でも肉弾戦が
口喧嘩になった
だけか…
ま…
全然平和で
いいけどさ
にしても
この頃の
スザクって
荒れてるなー
あとで
からかってやろ
それにスザクが
「坊主」とか言うから
年寄りのひとつって
勘違いしてたけど…


お爺さん
じゃなくて
おじさんだね
でも
すごいな
このひと
あー…ムサシ
お爺ちゃんくらい
強い人って
スザクが言ってたの
この人のことかな…
これは
なんの
ための
ものっ、
もう…
落ち着かないなあ


今度はどこ…
あ…
スザク…


?
テテテ


デレたー？
なにがどーして
……
は———
は〜〜〜
また…
今度は室内？


はぁ
はぁ
はぁッ
あわ
また！
そんな関係まで？……
じゃこれさっきのシーンの続き？
スザクの恋人って……
へ～



へ〜〜〜
どんな
あ〜なぇ…
ビュウウ
っと…
パッ





え？フラれた？……
ううん…そっか…
何十年も経ってて…
きっとあたしも…
これからずっと送る側なんだ……
あやつは死んだ
死んだはずだ
…スザク？
そんなわけがない




ん…
吾は…なにを…
ウッ…!
?
ビクッ


行こ…スザク
？
タッ
どうした
こら
どこへ行く
結界を調べねば…
お婆ちゃんたちのとこに行く！
は？
ムリしないで
気になるんでしょ？
延寿お爺ちゃんをさらった雲水が好きだった人かもしれないから


何を…
ごめん…今色々スザクの昔の事情が見えちゃって
正直みたくなかった〜
莫迦を言うな！何を見たのか知らぬが…
あの程度の出会いや別れなぞ…
カビが生えるどころか苔生した話ぞ
……
ベタ惚れだったじゃん
プッ
イラ
なんか乙金さんの話聞いたときから様子ヘンだったし
あめつちの――
馬鹿馬鹿しい偶然だ！
大昔に死んだ人間だぞ!……



吾は汝を常に思う
天地(あめつち)との約定だ
まるで求愛の言葉ではないか
心の腑も持たぬこの吾に
――人の分際で
心は臓腑のみに宿るものではない
あ…
こころのまじわりに愉悦を感じるというのなら
おまえはひとなのだ
ドクン…


哀しさがなければ歓喜はなく——
満腹の身に美味きものなどなく——
白黒無ければ全ては灰色
時に縛られぬ汝ならばなおのこと…
約定を束ねて己の芯とせよ
でなければ汝は岩や木と変わらぬ
己自身と——天地と——約束せよ


そうだ
約束を…
したのだ
時を戻したりはせぬと
あやつは言いおったのだ
永劫などいらぬと
人間の寿命の限りに従うと
──吾を…
置いて逝くと



吾に——
決して追うなと
そのような頑固者が人であることをやめてまで永らえておるわけがない
だから——
確かめに行こ！
莫迦者
ムサシ殿もミカサ殿もミズキ殿のため命懸けの選択をしているのだそれを——
このような理由で危険な——
——約束するから


たしかに…最近あたし自分が少し怖い…
でも調子にのらないよう気を付けるから！
そんなに好きだった相手と関係あるかもしれないのに…
何も確かめないなんて絶対後悔するから！
ダッ

第四十二話／完


ADMINISTRATOR

デスレス

DEATHLESS

第42話　舞い降りるひと



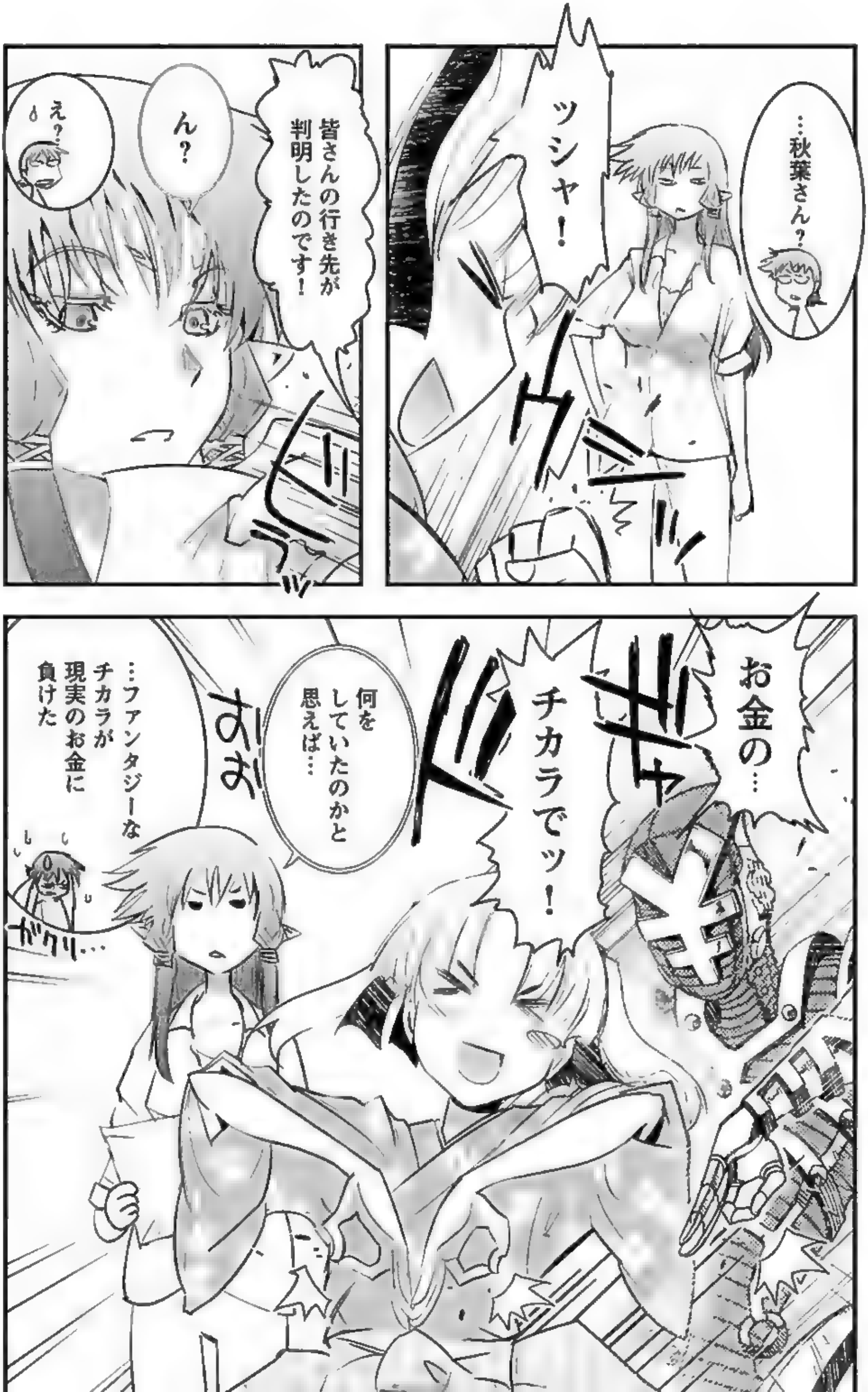


は〜
どうだ カマド なにか 匂うか！
ちょ…スザク！
はひら〜


危ないって！
大丈夫だ
カマドは頑丈ゆえ この程度の高さから 落ちたところで
そーじゃなくて！ 誰かに見られたら どーすんの！
仕方が無いであろ さすがに 結界の外でなければ わかりづらい
高所のほうが 感度もよい ようだしな
そんなもん？


ホェ
おとなりの夕餉は唐揚げでありますして
だめだ
ポイス
ひどっ
スザクだってそーゆーのなんにもわかんないじゃん
ミズキ殿こそ他人のことをとやかく言えた身か


大見得切っておいて行き先もわからぬなど間抜けもよいところだ
だって…お婆ちゃん達の行き先くらいその気になればわかると思って…
ただいまー
それほど便利には
はいはい！
その金額でかまわないのです！
それは確定なのですか？
了解！ご苦労様なのです！


…秋葉さん？
ッシャ！
皆さんの行き先が判明したのです！
ん？
え？
お金の…
チカラでッ！
何をしていたのかと思えば…
…ファンタジーなチカラが現実のお金に負けた
ガクリ…


延寿様の為なら
どんなに
お金と頭脳を
振り絞っても
かまわないのです！
でもちょっと
ご・ほ・う・び
ぱふーっ
まみ
まみ まみ
……ふむ
ちと感心した
乳くらいなら
まあよかろ
イーヤー…！
ギャアァ
姐さん
むっ
「入れ墨」か
眠…
ワキ
ワキ
池の結界は
どうだったい
だめだの
吾はすぐに
意識を無くした
なんでぇ
情けねえな


じゃあ嬢ちゃんはどうだった
ん…
はぐらかされたかんじ？
ん？……
？
まるで結界に意思があるような言いようだの
ん～～？んん…
なんていうかね…困ってるみたいな…
とにかくこの結界は…「敵」じゃないよ
とにかくここはいいから！


いそいで
みんなのところに
行かないと！
…よし！
出発！
いってらっしゃいませー
ま
がんばんな


フク
行くよ
なんかずっと
上の空なんだから
しっかりして
みんなを
追っかけるよ
心配
追
ゴゴゴゴ
いきなり
はりきった？
…やはり吾は
ミズキ殿が
行くことは
勧めぬ
だが雲水のことが
気にならぬと
いえば嘘だし…
どのみち
ミズキ殿が
行こうとすれば
吾には止められぬ
大丈夫！
ちょっと
本気出す！
……



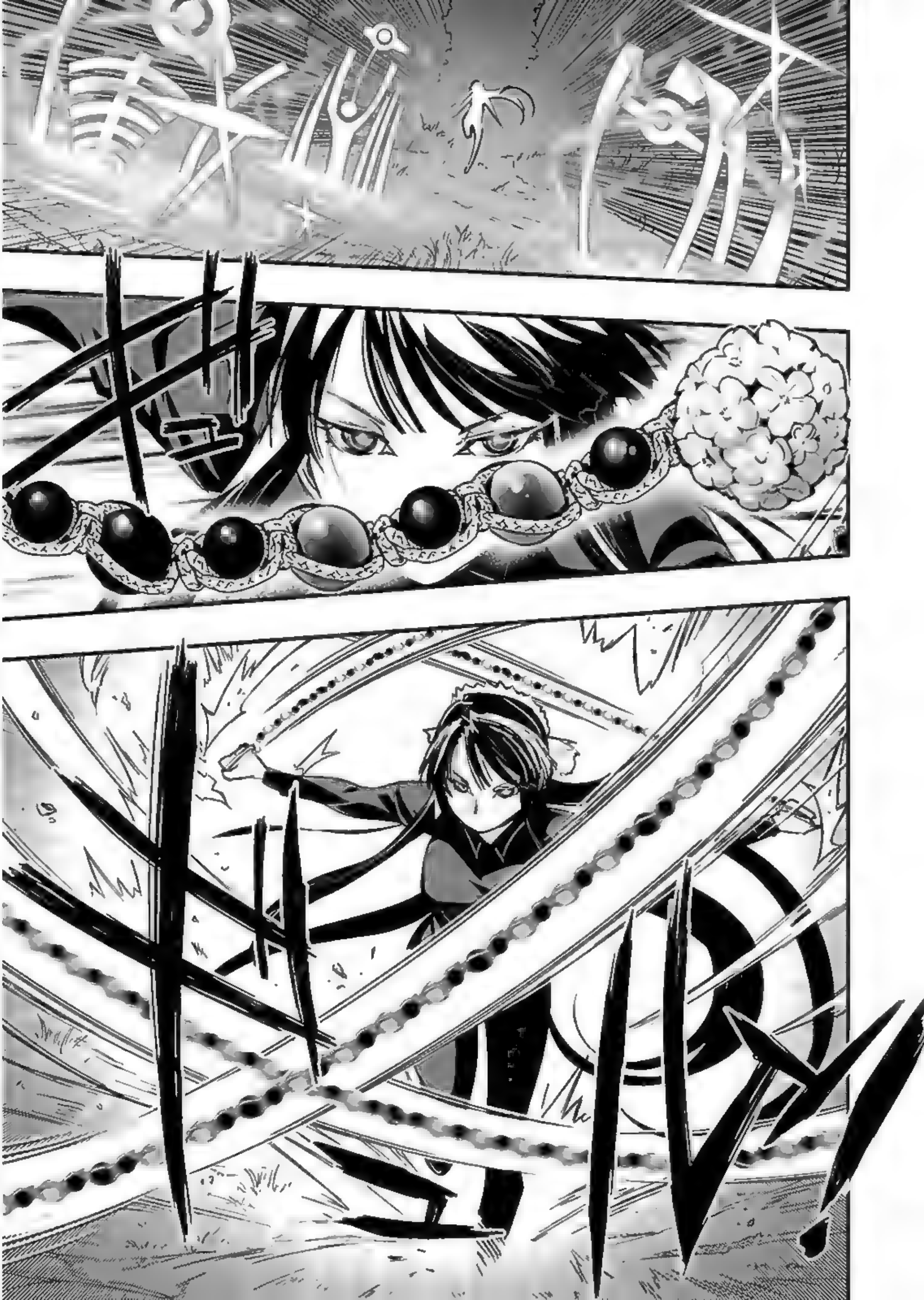
ザザザッ
えっと…
…おいで！
バキッ
バキッ


…化け物め

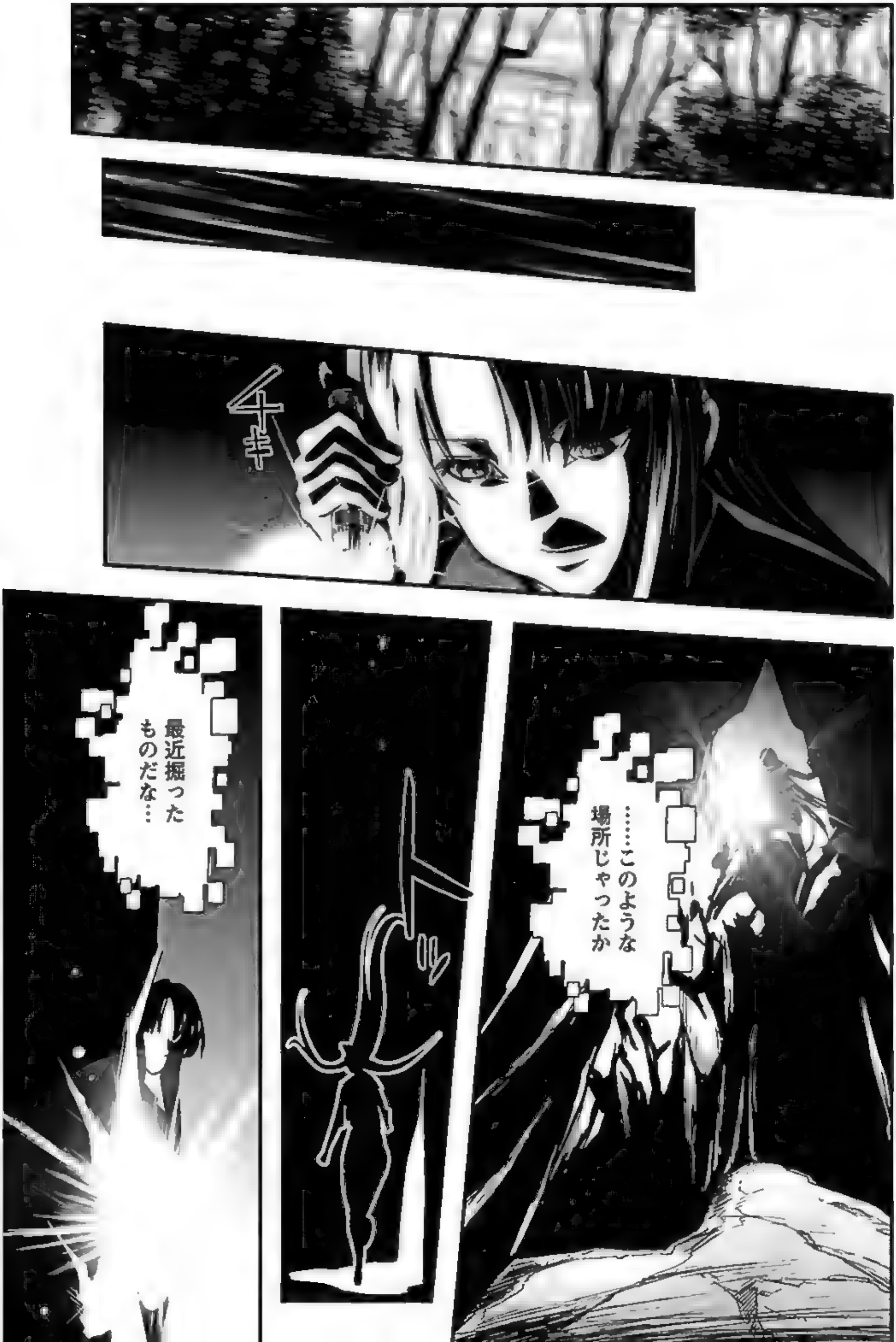


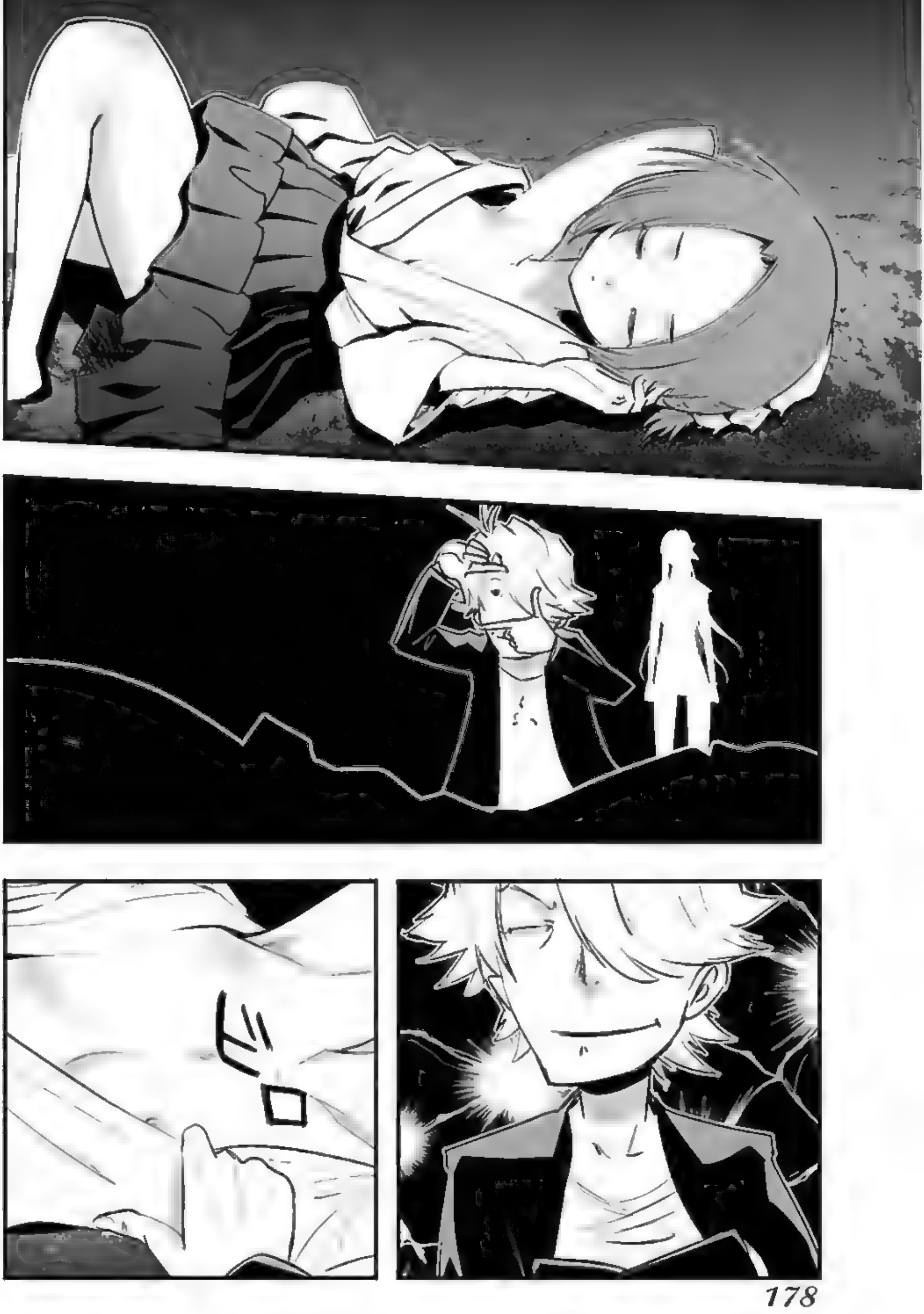
さあ…
行くよ…
お姉様！
待って！
お？…
お電話が入ってまーす
でんわ？…
——あたしに？


ア
ア
ア




ふ…頑張っておるようじゃのう
やはりこちらに戦力を差し向ける余力は無いか
これならば…


ギキ
……このような
場所じゃったか
最近掘った
ものだな…




ひとのからだに
なにをしておる
やっぱり半乳首(チク)は
わざとらしくて
イマイチだね
ね
……貴様も大概じゃな
イタズラして
いいって
言ったじゃん
そのようには
言っておらぬ
ふむ…
なにも不思議には
思わぬのか?
「君」でしょ?
一回見たしね


幽霊みたいに乗り移るんでしょ どういう理屈か知らないけど
…まあそうじゃ
本体を迎えに来たんだ？
ズサッ
…貴重な寄り坐じゃからな
ではさらばじゃ
しゅた
……僕は？
ぬしの兄君どもが相手の目を引いてくれたおかげで助かった
「生きて会わば礼を伝えよ
見捨てるんだ うわー薄情ー


…あの式鬼(しき)は
われらに取っても
迷惑じゃ
できればぬしらに
なんとかして
もらいたい
……む？
ぬしの姉君に
じゃったら
・・・
見えるやも
しれぬ
…ミカサに？
なにが見えるのさ


あの式鬼の本体を…じゃ
…これ以上の塩は送れぬな
ちぇ いいよ
さんきゅ
こっちはこっちで迎えを待ってるから


ええい
キリがない
ぜー
ぜー
延寿は
まだか
ミカサ！
飽きたー！
近くに
来てるのは
確かだよ！
近い…
大きいよ！

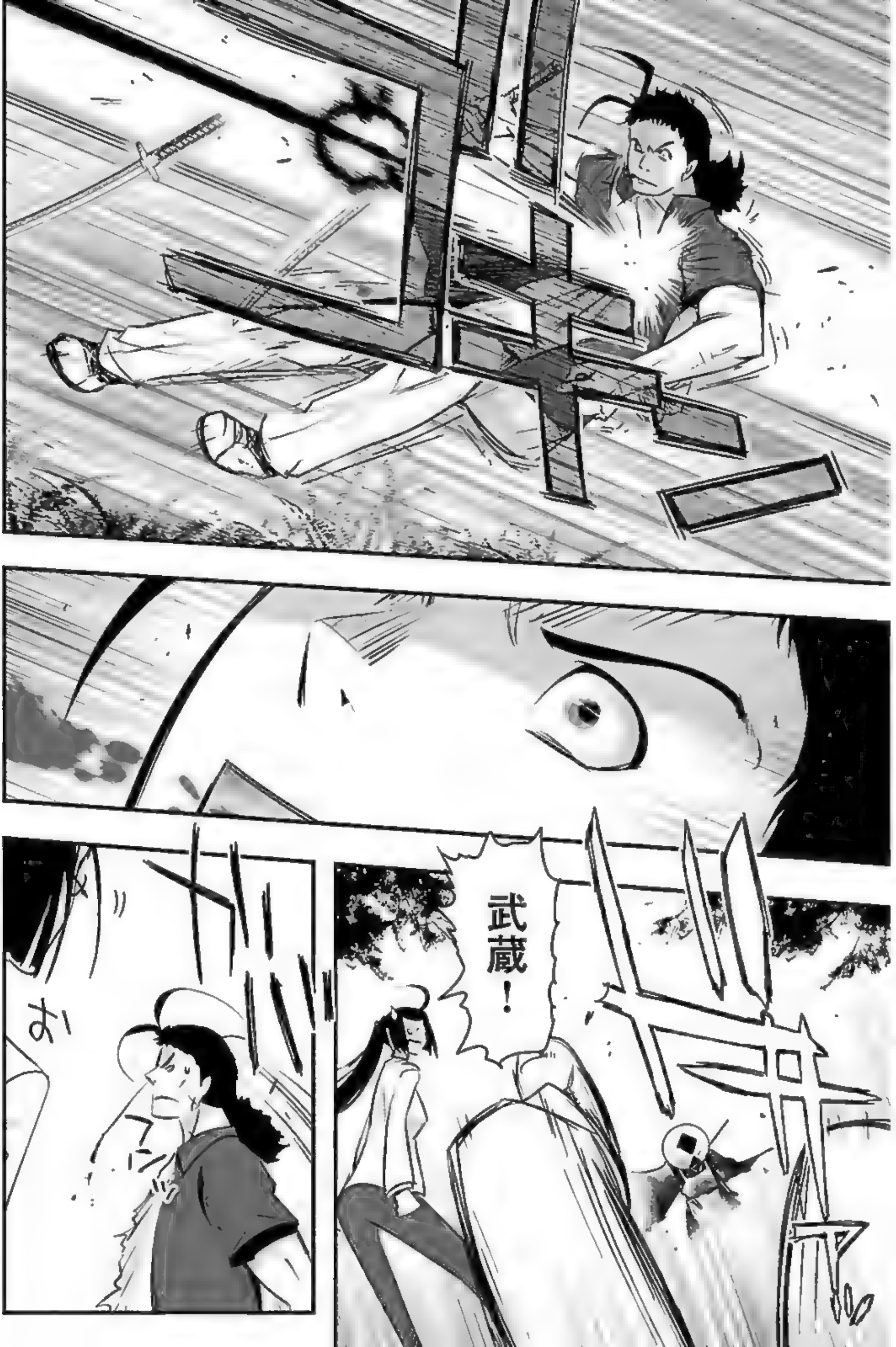

うお!?


……雲水！
これか……
ぎしッ
ぎしッ
守られよ


守られろ…じゃと…?
…鬼斬り
千載眼
じゃりん
じゃりん
惜しい…
守られよ
なんのことかわからんが…
余計なお世話じゃ!



延寿を返さんかい化け物！
守られよ
然もなくば
奪わるる前に
銷却する
しゃりん


武蔵！
お


無事か！
危なかったわい
連中のくれた
防具でギリじゃ
気をつけな
見た目
どおりじゃあ
ないよ
おう
本気出すわい！
われは守護のもの
稀なる異能…
惜しむべき
異才を護るもの


われは
天地(あめつち)を守るものなり
第四十二話／完

デスレス
第六巻

・製作
六道神士

・作画補助
木林田　ウナム
たけぽんG
春夏秋冬 鈴

・担当編集
筆谷芳行
(順不同・敬称略)



YOUNG KING

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

デスレス

6

六道神士

発行・株式会社少年画報社
〒101-8388　東京都千代田区三崎3-3-12